



本郷 新、山内壮夫、佐藤忠良 リリーフ「大地」1964年
長さ41メートル、高さ3.3メートル。北海道銀行本店営業部
(札幌市中央区大通西4丁目)1階でご覧いただけます。
本展では実物大パネル(部分)を展示いたします。

旭川市・北海道銀行連携協定記念

北海道銀行コレクション

The Hokkaido Bank Collection.

北海道銀行所蔵の作品の数々が道銀発祥ゆかりの地、「旭川」に一。



木田金次郎「りんご」1954年



中原悌二郎「若きカフカス人」1919年



野口彌太郎「真昼のグラナダ」1961年

2013年11月29日(金)~12月15日(日)

会場／北海道立旭川美術館
旭川市常磐公園内

開館時間／9:30~17:00(入場は16:30まで)

休館日／月曜日

観覧料／無料

主催／北海道銀行

後援／旭川市、旭川市教育委員会、
旭川商工会議所、旭川らいらっく会

お問合せ／北海道銀行 秘書室 ☎011-233-1256
(受付時間 平日9:00~17:00)

【出品作家】

青山義雄・伊藤仁・伊藤正・伊藤廉・岩橋英遠・岩船修三・上野山清貢・小川マリ・刑部人・
小野州一・小野未・堅山南風・菊地精二・北岡文雄・木田金次郎・国松登・児島善三郎・
小谷博貞・坂本直行・桜庭彦治・佐藤吉五郎・佐藤忠良・繁野三郎・菅野恵介・須田寿・
高田博厚・高橋英生・高橋北修・高島達四郎・武田範芳・田辺三重松・田上義也・近岡善次郎・
豊島輝彦・中谷龍一・中原悌二郎・中村善策・西村計雄・野口彌太郎・場崎恵・橋本三郎・
浜口陽三・林武・平賀亀祐・廣岡紀子・藤野千鶴子・本郷新・牧野虎雄・増田誠・三雲祥之助・
三苫麻由子・南桂子・森田元子・山岸正巳・山田義夫・山内壮夫・山本倉丘・渡会純价



タロー

北海太郎

1964年8月新本店オープンを記念して登場した
マスコット人形。彫刻家・佐藤忠良氏の指導を受け
て作成されました。
現在、創立60年を記念して誕生した、新「北海太郎」
=「タロー」が活躍中。

旭川市・北海道銀行連携協定記念

北海道銀行 コレクション

The Hokkaido Bank Collection.

北海道銀行初代頭取島本 融は、その著書「私の銀行経営」の中で、「企業は、地域の人々が自分たちの、地域に育った芸術を強く求めているときには、進んでこれに力を貸すことを惜しんではならない。それが企業の社会的責任である。」と述べています。

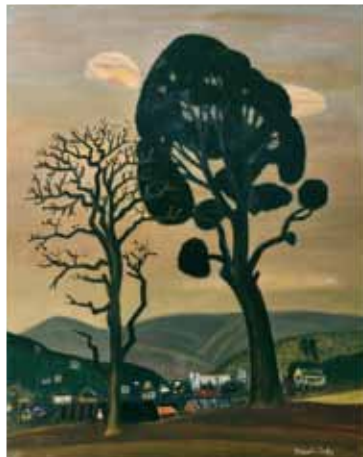
創業初期から島本は、岩内出身の木田金次郎氏の作品に「北海道的なもの」を感じ、個展の開催など様々な支援を開始することとなります。島本と木田金次郎氏との交流は、同氏と親交のあった野口彌太郎、林 武、児島善三郎、高島達四郎各氏をはじめ、中央画壇にて活躍していた多くの画家たちにも拡がりを見せ、この過程で彼らの作品も当行の所蔵するところとなりました。また、昭和30年以来、当行が制作するカレンダーに北海道出身あるいはゆかりのある作家の作品を採用してまいりましたことも、コレクションを構成する大きな柱になっております。

昭和39年の本店ビル新築に際し1階の壁面に設置した巨大なレリーフ「大地」は、わが国を代表する彫刻家、佐藤忠良、本郷新、山内壮夫3氏の共同制作で、北海道の歴史風土、産業発展に対する熱い思いが逞しく表現されています。本展では当行本店の象徴とも言えるこの作品を、制作過程の映像等を通してご覧いただけます。

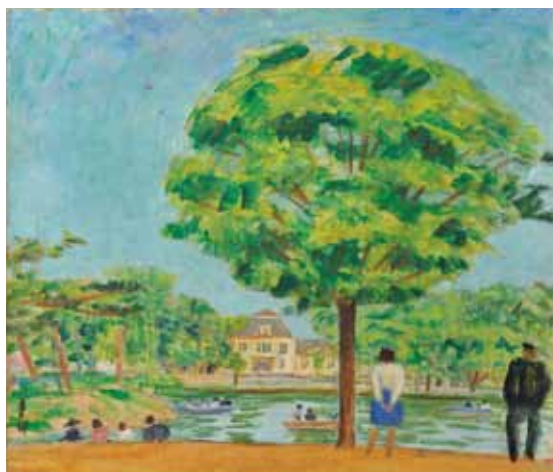
昨年2月、創立60周年を記念して開催した「北海道銀行コレクション」展を旭川市との連携協定を記念して当行発祥ゆかりの地「旭川」で開催することとなりました。約800点の所蔵作品から厳選した絵画・彫刻に加え、創業以来の当行カレンダーを道北の皆様にご覧いただけます。また、本展では旭川・道北ゆかりの作家による作品を新たに加え展示しております。多くの皆様にご鑑賞いただければ幸いです。



南 桂子「シャボン玉遊び」1981年



高島達四郎「樹木」1956年頃



児島善三郎「初夏池畔(札幌中島公園)」1947年

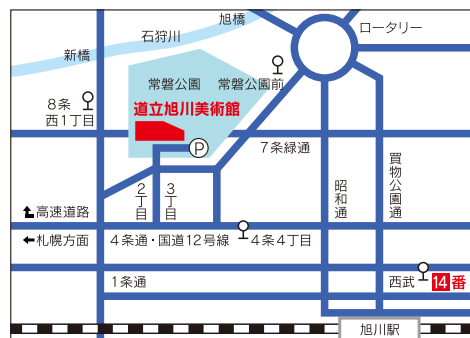


佐藤忠良「亜古」1964年



武田範芳「サンポール(南仏)」1964年

【交通案内】会場／北海道立旭川美術館



- 旭川駅から徒歩20分
- バス：旭川駅前14番バス停(西武A館前)から3・13・23・24・31・33・35番のバスに乗車。もよりのバス停は「4条4丁目」(3・31・33・35番)、徒歩5分。または「8条西1丁目」(13・23・24番)、徒歩3分。また、常磐公園前を経由するバスもご利用いただけます。バス停から徒歩7分。
- タクシー：旭川駅前から10分
- 駐車場：常磐公園駐車場(無料/9時~17時)をご利用いただけますが、台数に限りがあります。



岩橋英遠「遺跡」1962年頃